

## 県環境教育北九州市立中原小学校 ～ 校庭の樹木ウォッチング ～

ぎりぎり大丈夫かと希望的に予測が外れて、当日は残念ながら雨でした。でも、雨の日は雨の日の楽しみがあるもの。準備していた雨プロの出番です。まずは、体育館で「もくもくクイズ」。木も生き物だよって、みんなに確認してもらい世界で一番大きな木、長生きの木、何を食べて生きてるかな?と質問をしました。子供たちは3通りの答えにどれが正解か答えます。このクイズを通じて木のすごさ、不思議さ、人間との関わりを学びます。



クイズの後は、小雨降る校庭へ。子供たちは雨の日の校庭にはなかなか出ることがありません。木の下で雨宿りをするのも雨の日ならではの。

校庭での観察の後は、準備していた体育館での、樹木ウォッチング。模造紙の上に並べた枝を(許可を得て剪定してますよ)五感を使って観察します。枝や枯れ葉、どんぐり、備長炭、などいろんな物も載ってます。ルーペも使い小さな世界を体験してもらいました。

次は、子供達の中に膨らんできたいろんな?を、発表してもらおう「木の質問コーナー」です。「世界で一番小さい木、草は何ですか」「クスノキの根はなぜ赤黒いのですか」「ヒイラギの葉はなぜとがっているのですか」など、難問続きでインストラクターもややドギマギしながらも、さすがの余裕で丁寧に子供達に答えていました。

最後に、「木の働きの話」で森林の大切さを子供達に伝えて、行事は無事終了。

中原小学校の先生方、長い時間を取ってくださり、また、便宜を図っていただきありがとうございました。



(スタッフ：赤松、久保田、佐伯、常藤、手嶋、宮本、中村、野見山) 野見山記